

ラバーなど素材から製作機器まで ゴム印製造のあらゆるものを扱う

1954年に豊田ゴム商会として創業し、2019年に創業65周年を迎えた歴史ある企業。豊田商会の事業は、ゴム印を製造するのに必要なあらゆるものを販売している。

同社が製造・販売しているものは、大きく分けて2つ。1つ目は、ゴム印を作る素材。創業時に始めたゴム印のシートラバーのほか、ゴム面を貼る持ち手部分の「台木」、朱肉のスポンジなどの素材を製造・販売している。

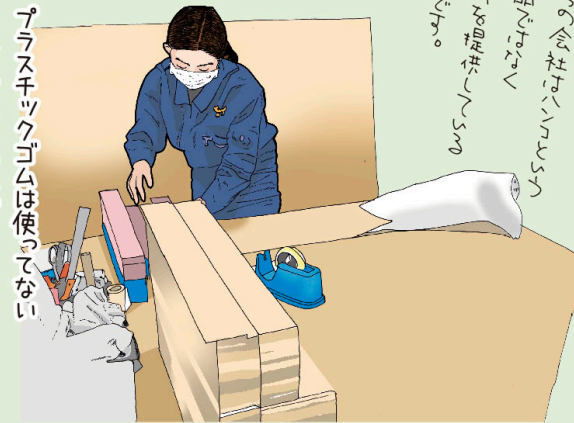
2つ目は、ゴム印を作るための機材やソフトなどの機械設備。紫外線の光で硬化する特徴を生かし感光性樹脂でゴム印のフィルムを作る「NS製版機」、ゴム印の版下作成に必要なネガフィルム出力ができる小型インクジェットプリンター「Jフィルムシステム」、版下ソフト、ハンコ用の文字フォントソフトを扱っている。中でも、国内における感光性樹脂のフィルムシステムは、ほぼ同社のものだ。

同社の事業は、時代のニーズとともに俊敏に変化を遂げている。ゴム印のラバーは、昔は赤色がほとんどだったが、東京でオレンジ色のものが出始めたと知るや否や、オレンジ色の製造販売を開始。さらに、そのほかの色にも対応可能にした。ゴム印の文字部分も、昔は版下と呼ばれる文字原稿を作るために活字を使用し、石膏で型どりしていた。が、いち早くパソコンでの文字作成を取り入れ、版下フィルムを使用する感光性ゴム印、パソコンとレーザー加工機だけで作成するレーザーゴム印などにも対応。ゴム印製造の技術革新に合わせ、それにもっとも適したゴムの素材自体も変えていく。丸型などのゴム印だと、文字をバランスよくおさめるために調整が必要だが、ワンタッチで制作できる文字ソフトも開発した。

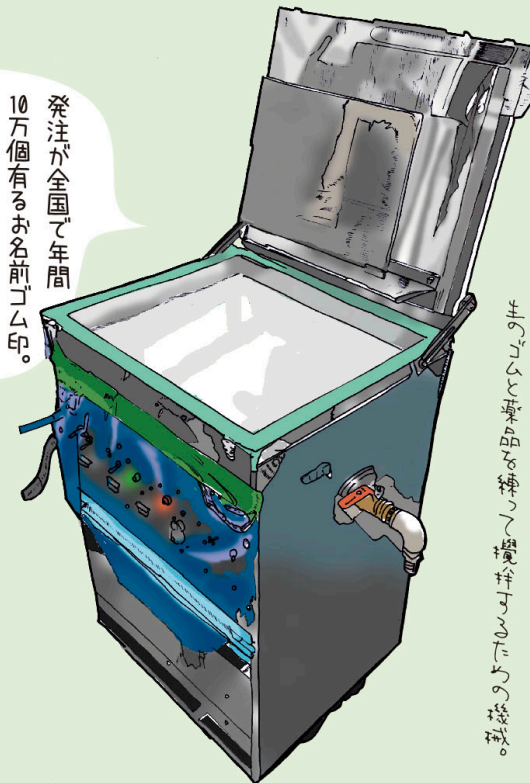
これだけ幅広いものを扱っているゆえ、国内におけるゴム印素材のシェア80%以上で、国内ナンバー1。おそらく、私たちの身近にあるゴム印は、何かしら同社からの素材が使われている。

株式会社豊田商会

<http://www.toyoda-stamp.co.jp/>
〒544-0006 大阪市生野区中川東2-2-14
TEL 06-6752-8441 FAX 06-6752-7451
事業内容／ゴム印材料・浸透印材料、プレス機・レーザー彫刻機・製版機械・PC・デジタル機器、版下作成ソフト・フォントソフトなどの企画・製造・販売

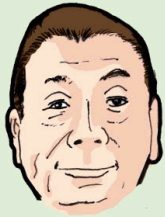


安いものは不純物が多く、クラックが起こる。
うちは、9時間以上かけて、ゆっくりしめて固める。



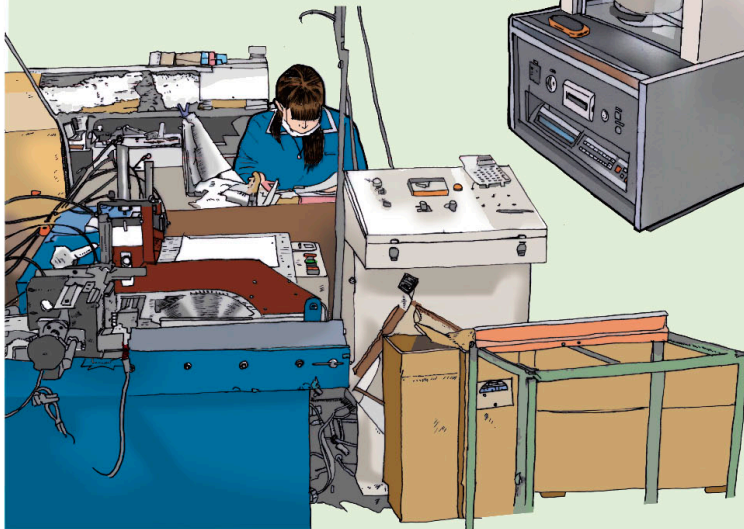
プラスチックゴムは使っていない
日本製だから安全で
人のカラダには影響が少ないんです。

発注が全国で年間
10万個有るお名前ゴム印。
そのうちの6割が、
同社の商品を
販売しているもの。



孫の頃に父がゴム印を
作った。孫のお父さんが
頼まれて作ったんだよ。

ネガフィルムを早く、安く、
超高画質に出入する「RIP付小型Jフィルムシステム」
太い・細いのが段階調整、
白黒反転、超高画質、濃度調整の機能を付す。



我が社の 自慢

従業員と家族を 温泉旅館へ招待

2019年で、創業65周年を迎えた。そのお祝いに、大阪・東京の従業員40名とその家族全員を、石川県の高級温泉旅館「加賀屋」にご招待。温泉とおいしい料理に、みんな大満足!